

他の部会と情報共有をはかる意見

【自治・共生・活力部会に関連する他部会での意見】

部会	発言内容	答申イメージ	自治・共生・活力部会の状況
子育て・教育部会より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の入れ替りが激しい中野区では、全世代で、地域の記憶を共有していく仕掛けが大切である。</li> </ul>	<p>人やまちが移り変わっても、地域の記憶が共有・継承されている。</p>	<p>同様の発言なし</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイバーシティの観点から地域を活性化していく必要がある。大学生や区で増加している外国人と連携することが、新しい価値を生み出し、地域を活性化することにつながる。そのためには、中核となる「地域を活性化するキーパーソン」を区が把握し、連携することが必要である。</li> </ul>	<p>大学生や外国人などの新たなプレイヤー同士がつながることで、地域に新しい価値が生まれている。</p>	<p>同様の発言あり</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動できる場があれば、自分たちのやれることをやろうという区民はいる。区の支援を強化してほしい。</li> <li>・母親が地域活動をしたくても、子どもがいるとできない場合があるので、例えば、活動時間中に一時保育が利用できるような支援が必要である。</li> </ul>	<p>区民が、関心のある活動に気軽に参加できる場が整っている。</p>	<p>同様の発言あり</p>
健康・医療・福祉部会より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域のネットワーク」の成功事例の特長とうまくいった要因を分析し、それを永続的にするための方策を、システム論的に考える必要があると思う。</li> </ul>	<p>地域ネットワークの成功事例が他の地域に共有され、区全体としてネットワークの質が高まっている。</p>	<p>同様の発言なし</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生児童委員として、誰でも来てもいいサロンを増やす等、高齢者と子どもの居場所づくりを地道にやっている。</li> </ul>	<p>地域には、誰でも気軽に集まることができる場所があり、地域住民により運営されている。</p>	<p>同様の発言なし</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の時代はリスク管理が念頭におかれることが多いので、ご近所同士でも声をかけ合えないことがあるが、少々のことはお互いさまと言い合える、寛容な雰囲気のある中野区になっていくと多様な生き方が受け入れられると思う。</li> </ul>	<p>地域の中で、区民同士が互いに理解し、受け入れあい、困ったときに支えあえる良好な関係を築いている。</p>	<p>同様の発言あり</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中野区の企業や大学、区民が一体となってイベントを実施すると盛り上がると思う。</li> </ul>	<p>企業や大学、区民が一体となって、まちに活気を与えている。</p>	<p>同様の発言あり</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の病によって働きたくても働けない区民がいると思う。休んだり、働いたりを認めてくれる場所があれば良い。働きづらさを抱えた人を受け入れる場が必要である。</li> </ul>	<p>働きづらさを感じている区民が、その人らしい形で就労できている。</p>	<p>同様の発言なし</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20～30代の区民は、地域に貢献できるような活動をしたいと思っけていても、町会・自治会に入りづらい雰囲気を感じているようだ。例えば、民生児童委員のなり手として声をかけてみると良い。</li> </ul>	<p>幅広い年代の区民が、それぞれの関心に応じて、積極的に地域活動を行っている。</p>	<p>同様の発言あり</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者だけではなく、若い世代が働きながらでも民生児童委員などの地域活動に気軽に参加でき、一緒に地域を支えられるようになると良い。</li> <li>・有償ボランティアを推奨すると良い。サービスを広く薄く担う点、誰でもできる気軽さ、社会に役立つ場を作り出す等、社会に有効なツール、高齢者などの生き甲斐作りや仲間作りの場にもなっていくと思う。</li> </ul>		
		区民は、様々な形態のボランティア活動によって地域に貢献している。	同様の発言なし
都市・防災・環境部会より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンルームマンションに住む若年層や外国人は、町会などのコミュニティに属さない人が多いので、地域とつながる支援があると良い。</li> </ul>	単身世帯の若年層や外国人が、地域コミュニティに参加している。	同様の発言あり
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相続などで住宅が細分化されることで、単身者用の住宅が増え、高齢者の孤独死も増加しているので、地域の見守りなどの支援が必要である。</li> </ul>	一人暮らしの高齢者が、地域で孤立せずに暮らしている。	同様の発言あり
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中野の駅前には1,000店以上の飲食店があり、外国人の来訪者も増えている。選択肢がたくさんあるというイメージを大事にする必要がある。</li> <li>・中野にはサブカルだけでなく伝統文化もある。一つに絞られない、可能性が高いまちとしてのイメージを大切にすることが必要である。</li> </ul>	世界中の人が訪れ、サブカルチャー、飲食街、伝統文化など、中野ならではの多彩な魅力を楽しんでいる。	同様の発言あり
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、地縁や地場のつながりを求められているので、地域の人がつながれる仕組みが必要である。</li> </ul>	いつでも誰でも、新たに地域コミュニティに参加することができる。	同様の発言あり
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂が多い地域などがある。高齢者の近くに、すぐ買い物に行ける商店街や商店が必要である。</li> </ul>	歩いて買い物に行ける身近な商店街	同様の発言あり
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店はものを売るだけでなく、そこで話をするとか、子どもが買い物を通して、最初に社会に触れる体験ができる場でもある。商店街の活性化が必要である。</li> </ul>	区民の交流と、子どもの社会体験の場としての商店街	同様の発言あり

【他部会に関連する自治・共生・活力部会の意見】

部会	発言内容	答申イメージ	共有先の部会の状況
都市・防災・環境部会へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区は、ICTを重点施策として創業支援をしているが、既存の事業所の継続について支援を検討してもらいたい。若い人が中野で事業を継続したいと思えるようなまちづくりをしてもらいたい。</li> <li>・用途地域が変更になって事業所は建物の建替えできず、事業拠点を移すということがある。区は、用途地域の見直しを検討してもらいたい。</li> </ul>	区内事業者が継続的に事業活動を行うことで、地域経済が活性化している。	同様の発言なし